

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 事業の成果

(1) 第三者評価事業

機構が定め、適用している評価基準項目「Ver.4.0」に基づき、下記の学校に対し、第三者評価を実施し、評価結果を公表した。

- ①上尾中央医療専門学校（埼玉県 上尾市）
- ②出雲医療看護専門学校（島根県 出雲市）
- ③鳥取市医療看護専門学校（鳥取県 鳥取市）
- ④日本電子専門学校（東京都 新宿区）

学校ごとの評価部会及び第三者評価委員会の審議を経て、理事会で承認し令和5年3月31日付で、評価結果を各学校に通知した。

(2) 文部科学省受託事業

○ 事業テーマ：職業実践専門課程の質保証における第三者評価の位置付け、第三者評価の効果的、効率的な実施方法及び受審促進のための適格認定版評価基準書の作成に向けた調査研究

○ 事業内容

①職業実践専門課程の質保証のしくみと学校評価のあり方の検討

職業実践専門課程の質保証の枠組みについて、保証すべき質とは何か、保証するために必要なシステム等について、令和3年度における第三者評価の定義等に関する審議に継続して、検討を行った。

②適格認定版評価基準書の策定

評価の客観性、厳格性の確保と受審校の負担軽減を踏まえ、第三者評価を法令等の基準適合性の確認ステップと内部質保証、学修成果など質保証に関する確認ステップとよる構造・段階的なしくみとして検討を行い、学校評価の基礎部分、土台としての法令等適格認定版評価基準書を策定した。

③実践的職業教育における第三者評価機関連絡協議会の運営試行と設置

専門学校を対象とする評価機関、また、職業分野別第三者評価の仕組みを有する機関、今後、職業分野別評価機関の設立を志向する機関等について、意見交換、情報共有、第三者評価機関の質保証検討の場としての連絡協議会を設置し、拡大研修会の開催など試行的な運営を行った。

○ 事業期間：令和3年6月17日から令和4年3月11日まで

○ 事業成果：

①職業実践専門課程における公的質保証の範囲とその拡大についてのまとめ

②適格認定版評価基準書の策定

③実践的職業教育における第三者評価機関の連絡協議会の運営試行と設置

④連絡協議会拡大研修会の開催と同時映像配信

⑤職業実践専門課程の第三者評価フォーラム2023の開催と同時映像配信

⑥本事業の取組状況を記録した事業成果報告書の400部発行、専修学校関係者等に配付

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事人員	受益対象者の範囲	支出額 (千円)
1 評価システムの構築及び運用	①第三者評価事業の実施 ・評価対象学校の募集等 ・評価の実施 ・結果の公表	4月 ～3月	法人事務所 各対象専門 学校等	28人	会員校 117校 受審校 4校	9,878
	③学校評価検討委員会の運営 専門職大学認証評価基準、実施 体制等のシステムの検討を行 うため、委員会を設置、運営 ・委員9名 ・開催回数4回 実践的な職業教育に関する評 価基準、評価システム等構築 この結果は職業実践専門課程 に関する評価活用する。	8月 ～11月	都内会議室	11名	不特定多 数	
2 専門学校等に関する各種調査事業	①文部科学省受託事業 実践的職業教育を行う専門学 校の第三者評価受審促進等 に関する事業を受託し、結果を報 告書にまとめた。 また、第三者評価フォーラムを 開催し、全国に同時配信した。 組織体制：委員会1・部会2を 設置、委員14名 部会委員16名 事業成果のまとめ ◎事業成果報告書400部 ◎第三者評価フォーラムの開 催・映像による同時配信	7月 ～3月	法人事務所 各専門学校 都内会議室 等	39人	不特定多 数	8,714
3 専門学校等の質的向上のための助言・相談事業	専門学校等の評価システムや 自己評価の進め方に関する助 言等を行った。	4月 ～3月	法人事務所	3人	不特定多 数	0
4 専門学校等における学校評価資料の刊行などの普及啓発事業	①機構ホームページによる情 報発信 ②第三者評価報告書の刊行及 び結果の文部科学省記者会等 プレス発表 ③講師派遣や教材の提供	4月 ～3月	法人事務所 等	2人	不特定多 数	3,425
	④学校評価研修会の実施 学校評価研修会（8月） 研修テーマ：自己評価に進め方 学校関係者評価の進め方 第三者評価の受審研修 その他1団体の研修を受託 ⑤学校評価ハンドブックの頒布 有償5冊 無償7冊（資料等）	4月 ～3月	法人事務所 都内会議室 等	3人	受講者 90名	